


平成31年度 都立学校・学校経営シート

校章	 都立竹台高等学校		進路実績 4年制大学 35% 短大 1% 専門学校 33% 就職 9% その他 22%										
	竹台で未来を拓く 校訓「共に学び 共に進む」		基 進路特徴 進路指導部の「進路指導年間計画」に基づいて、学年・教科等と連携を図りきめ細やかな指導を行う。										
基本情報	所在地	〒116-0014 荒川区東日暮里五丁目14番1号	電話番号	03-3891-1515	基 主な部活動 【吹奏楽部】第58回東京都高等学校吹奏楽連盟吹奏楽コンクールA組銀賞、第24回日本管楽合奏コンテスト優秀賞、第42回東京都高等学校アンサンブルコンテスト打楽器五重奏銀賞。								
	アクセス	(1) 山手線、京浜東北線、京成線 日暮里駅南口下車徒歩8分 (2) 日暮里舎人ライナー 日暮里駅下車徒歩8分 (3) 山手線、京浜東北線 鶯谷駅北口下車徒歩6分		学校評価	「生徒が生き生きと充実した学校生活を送っている」生徒1年55%、2年66%、3年54%。保護者1年59%、2年72%、3年68%。								
本学情報	学科	普通科		入学者選抜情報	募集人員								
	在籍生徒数	普通科647名(男子331名、女子316名)											
報	教育課程の特徴	習熟度別授業(英語)、少人数授業(保健体育、家庭)、学校設定科目・教科(教養社会、理科演習、体育理論と実践、吹奏楽、ペン字、フランス語、朝鮮)		募集率	29年度入学生								
	ホームページ	http://www.takenodai-h.metro.tokyo.jp/	自律経営推進予算 31年度(単位:万円)			2,042							
その他	地域密着型教育活動推進校、平成30年度AL推進校、平成30年度ハワーアップハイスクール、平成31年度関係機関と連携した防災教育実施校、2019年度人権教育研究指定校	校 服	制服	男子 詰襟(紺) 女子 ブレザー(紺)	30年度入学生								
	その他	推薦	推薦	推薦		31年度入学生							
目指す学校	教育目標①人間性豊かで、互いの人格を尊重し、社会の発展に貢献できる人材を育成する。②人権尊重の理念を基盤に、生徒が高い「規範意識」をもち、「感謝・礼儀・思いやり」を励行する。③確かな学力を向上させ、自ら学び考え行動する、個性と創造力豊かな人間を育てる。④特別活動、部活動の振興を通して、生徒の心身を鍛える。⑤生命尊重と安全を常に心がける人間を育てる。を実現し、変化の激しいこれからの社会を生き抜く、知徳体のバランスのとれた人間を育成する学校を目指す。		その 他 の 特 徴		分割後期並びに在京外国人生徒対象は男女問わず募集。								
			主な学校行事		体育祭(6月)、文化祭(若竹祭、9月)、修学旅行(2学年、1月)、TGG(1学年、1月)、マラソン大会(2月)。								
今年度の重点目標			今年度の取組と自己評価										
目 標 ①	学力向上 ・カリキュラム・マネジメントの充実(学力スタンダードに基づく教科マネジメント) 学力調査、定期考査の共通問題化、思考力・判断力・表現力育成。 ・アクティブ・ラーニング推進校としての取組 相互授業参観の活用、授業改善。 ・自主学習時間の伸長 週末課題、自習室、残効等。自主学習時間調査。 ・教科主任会、教科会(月2回)の充実。												
目 標 ②	生活指導の徹底 ・安全教育の推進(生活安全、交通安全、災害安全) ・規範意識の向上(生活指導指針に基づく指導)遅刻防止、服装・身だしなみ等。 ・いじめの未然防止、早期発見・早期対応。 ・自殺対策に資する教育の推進、自転車安全走行指導、セーフティ教室。 ・関係機関と連携した防災教育実施校としての取組												
目 標 ③	進路指導の充実 ・生徒情報の共有化(拡大学年会、模試結果分析会等)。 ・第一志望の早期明確化(社会的・職業的自立支援教育プログラム等) ・ガイダンス、個別相談の充実。 ・基礎的・汎用的能力の育成(週末課題、小テスト、講習等)。 ・4年制大学進学者の増加												
数 値 目 標	今年度の数値目標の内容		28年度		29年度		30年度		今年度		32年度	33年度	34年度
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標
	目標①	学力調査得点 55%以上			50%	54%	52%	51%	55%		55%	55%	57%
	目標②	遅刻者 1学年7%以下、2学年10%以下、3学年13%以下。			7%	12%	7%	16%	10%		10%	10%	7%
目標③	4年制大学進学率 40%以上			40%	42%	42%	35%	40%		40%	40%	42%	

平成 31 年度 東京都立竹台高等学校 学校経営計画

東京都教育委員会 教育目標

東京都教育委員会は、子供たちが、知性、感性、道徳心や体力をはぐくみ、人間性豊かに成長することを願い、

- 互いの人格を尊重し、思いやりと規範意識のある人間
- 社会の一員として、社会に貢献しようとする人間
- 自ら学び考え行動する、個性と創造力豊かな人間の育成に向けた教育を重視する。

東京都教育委員会 指定

- ・地域密着型教育活動推進校
 - ・平成 30 年度アクティブ・ラーニング推進校
 - ・平成 30 年度「パワーアップハイスクール」
 - ・平成 31 年度関係機関と連携した防災教育実施校
- 文部科学省 指定
- ・2019 年度人権教育研究指定校

目指す学校像

教育目標を実現し、変化の激しいこれからの社会を生き抜き、知徳体のバランスのとれた人間を育成する学校を目指す。

教育目標

- ①人間性豊かで、互いの人格を尊重し、社会の発展に貢献できる人材を育成する。
- ②人権尊重の理念を基盤に、生徒が高い「規範意識」をもち、「感謝・礼儀・思いやり」を励行する。
- ③確かな学力を向上させ、自ら学び考え行動する、個性と創造力豊かな人間を育てる。
- ④特別活動、部活動の振興を通して、生徒の心身を鍛える。
- ⑤生命尊重と安全を常に心がける人間を育てる。

本年度の重点目標

- 創立 79 年、校舎改築工事（4 月から令和 3 年 6 月まで）
- 人間力の向上
 - 系統的なキャリア教育の推進
 - 安全・安心な学校
 - 自信と誇りのもてる学校（PRIDE&BRAND）
 - 生徒・保護者・地域から信頼される教職員
 - ライフ・ワーク・バランスの推進

多様な入学者選抜 平成 31 年度第一学年生徒の募集人員

	男	女	計	
推薦に基づく選抜	22	20	42	
在京外国人生徒募集 4 月入学生徒の選抜	(男女を問わず)		20	
学力検査等に基づく選抜	分割前期募集	72	65	137
	分割後期募集	(男女を問わず)		39
保護者の転勤等に伴う 4 月入学者募集	(男女を問わず)		1	
在京外国人生徒対象 9 月入学生徒の選抜	(男女を問わず)		3	
転入学者特別枠	(男女を問わず)		2	

平成 31 年度日本語指導外部人材活用事業実施校

- 日本語指導が必要な外国人生徒の学校生活への適応及び学習意欲の向上を図る。該当生徒に対する授業の補助を中心とした指導を、外部人材の活用により実施する。
- 明海大学教育連携協定締結校
 - 相互の教育交流を通じ、高校生の視野を広げ、進路に対する意識及び学習意欲を高めるとともに、大学・高等学校の求める生徒像・学生像及び教育内容への理解を深め、かつ、大学教育・高等学校教育の活性化を図る。

重点目標の実現に向けた具体的な方策	
重点目標	具体的な方策
人間力の向上	規範意識：生活指導指針に基づく指導 とりわけ時間を守る／守らせる。服装身だしなみ指導等 自主学習時間の伸長：タイムマネジメント指導、週末課題、自習室の活用、自主学習時間調査、残効等。 学力向上：学力スタートに基づく教科マネジメント(学力調査、共通問題、思考力・判断力・表現力の向上)。 AL 推進校としての取組(主体的・対話的で深い学び) オリビック・パワフル教育 主権者教育 消費者教育等 体力向上：「アティブラン to 2020」目標値達成を目指した指導 「パワーアップハイスクール」としての取組 国際理解教育の推進：グローバル化の進展の中でたくましく生き抜く力の育成、国際交流、外国語教育。
系統的なキャリア教育の推進	生徒情報の共有化：拡大学年會、成績処理ファイル、FINE SYSTEM、Classi、模試結果分析会、目線合せ等。 第一志望の明確化：ガイダンス、個別相談、都立高校生のための社会的・職業的自立支援教育プログラムの活用等。 基礎的・汎用的能力の育成：志望理由書作成、小論文、面接指導等。資格取得の奨励等
安全・安心な学校	いじめの総合対策に基づいた対応：いじめの未然防止、早期発見、早期対応。教育相談体制強化等 自殺対策に資する教育の推進、交通安全指導特に自転車の安全走行に係る指導の徹底。セーフティ教室等 防災教育の継続・充実：2 学年生徒全員上級救命講習実施、防災活動支援隊の活動の充実等。
自信と誇りのもてる学校 (PRIDE&BRAND)	ガイダンス実現に向け、人権課題について深く考え、差別をしない／させない学校：人権講演会 自治意識、帰属意識の向上：特別活動、部活動の充実・振興。TGG(1 学年)、リーダー研修会等。 社会貢献活動：「人間と社会」、部活動等。奉仕的活動の充実、地域との連携の深化。
生徒・保護者・地域から信頼される教職員	保護者から「647 の命」をお預かりしている自覚と責任、常に「保護者」の視点に立った判断と行動。 生徒の良さを認め、褒め、潜在的な資質・能力を引出す。自らの職責を自覚し、学び続け、協働する。 全体の奉仕者として使命を果たす。服務事故ゼロ、保護者・地域と連携・協力する。
ライフ・ワーク・バランスの推進	「勤務時間の上限に関するガイドライン」遵守の徹底、効率的な職務遂行、メリハリを付けた働き方。

職場の指針

- 1 Teamwork 〈組織力〉 Clean Honest Beautiful
- 2 Network 〈情報収集力〉 報告・連絡・相談、記録
- 3 Footwork 〈機動力〉 すぐ動く!見過ごさない、見落とさない、見守る

生徒

	男子	女子	計
1 学年	121	119	240
2 学年	95	95	190
3 学年	115	102	217
計	331	316	647

教職員

校長	1	経営企画室長	1
副校長	1	主任(事務)	1
主幹教諭	4	主事(事務)	2
主任教諭	9	主任(司書)	1
教諭	24	JET	1
主任養護教諭	2	ALT	3
非常勤教員	2	スクールカウンセラー	1
講師	18		
実習支援専門員	2		